

白幡地区

◆開催日：平成 22 年 3 月 6 日（土）

◆場 所：白幡地区センター

◆参加者：61 名



まず始めに、当地区住民が最も関心を持っている『地域ケアプラザ』の設置について、白幡地区連合町内会長から説明がありました。

ごみ問題については、ごみの項目別の収集日が記載されている『ステッカー』に小さい文字が数多く書かれているため読みづらく、大きな文字でもっと簡素化したものがほしいとの発言がありました。また、「分別ができていない『ごみ』の取り残しをカラス・小動物等にいたずらされて困っているの、何かよい知恵がないか、ご参加戴いている皆さんに聞きたいとの意見もありました。ある自治会町内会長からは、生活環境や文化の異なる外国人もいるため、ごみの分別の必要性を理解してもらうのに苦労しているとの意見も出ました。

防災問題については、白幡地区には災害時に被害を受ける可能性が高い場所（崖・くぼ地等）が多くあるため、早急に自治会町内会ごとに「防災マップ」を作成した方がよいとの意見が出ました。これにより、身近で危険な場所を事前に認識することが進み、日頃からの訓練とも併せて災害発生時の適切な対応ができるとの指摘がありました。また、法令等により「高齢者・障害者等」の周知・把握について難しい局面がある現在、災害発生時の「要援者・支援可能者」へは、どのようなことが対応・活用できるかを考えなければならない、との意見も出ました。